

# 新しい鉢物 紹介と育て方

北海道大学附属植物園

荒井 道夫



キルタンサスの花

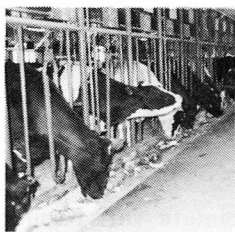
## はじめに

農業は実際の体験と理論とが結びついて生み出される高度な技術産業といえるでしょう。生産物の量と品質は収入と直結します。生産量が増加すればコストが低下しますが、それだけ販売競争が激しくなるのは当然です。現在では、ただ黙々と生産に取り組みば収入が安定する時代ではありません。外国より同種類の製品が輸入される時代、国際競争力に耐える経営を考え実現しなければならない厳しい環境に置かれているのが日本農業の現実の姿だといえるでしょう。お互いに知恵を出し合い生産物の品質向上に努力するとともに生産費のいっそうの切下げが要求されます。頭痛のたねが多いですがお互いがんばること以外ないと思います。園芸植物を含め観賞用植物の生産分野では歴史的にも早くから国際交流が最も盛んでほぼ100%自由化されていると見てよいでしょう。そのため、原種や新品種がどんどん輸入されています。園芸業者は世界各地に自生する植物や栽培植物の中から日本の気候風土、国民性に合った観賞植物を宝石でもみつけるようにさがし求めています。

他人より早く輸入して、繁殖し国内で販売する

ことによって経営の基盤を強化しているのが実状です。今日までにどれだけ多くの植物が輸入されたか、あまり多いのでわかりません。輸入された植物の中で流行の波に乗って爆発的に全国に広まったもの、生産者の手元で栽培されたのみで終わったものも沢山あります。丈夫で観賞価値が高いものは長期間すたれずに栽培されています。最も新しい品種が必ずよいものとばかりはいえません。めずらしいだけで終るものも多いです。特に日本は南北に長い国土で気候風土が大きく変化するので尚更です。植物の栽培は地域の気候、栽培技術、室内環境などの諸条件を十分に考慮した上で育てることが必要です。生産者はもちろんですが家庭で育てる場合も同様です。日常生活にうるおいを求めるために育てる場合は特に必要です。丈夫で育てやすい、管理にあまり手間がかからない、そして観賞価値は相当あるという植物を育てたいものです。省エネルギー、価値観の変化、高齢化社

## 目次



愛牛の健康に多汁質飼料を！

□安定・多収なサイレージ用F <sub>1</sub> とうもろこし ニューデント75日・ニューデント85日……………表②	
■新しい鉢物紹介と育て方	荒井 道夫…… 1
■酪農畜産における飼料問題	藤田 保…… 7
■入植5年目を迎えた新酪農村の現況	金川 直人……11
□ホールクロップ・サイレージ用の新品種 高栄養のハイカロソルゴー……………表③	

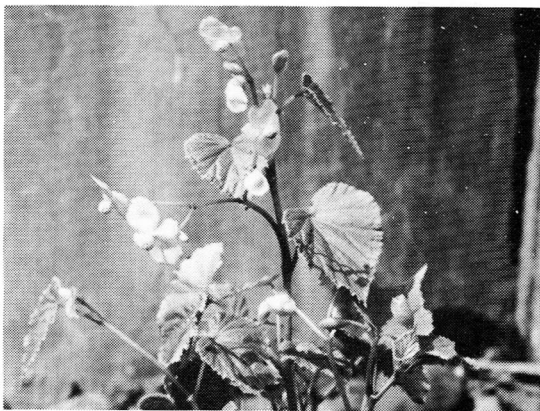


ツルスマレ

会、週休2日制と自由時間が増加する時代に入り手近に楽しめるものとして植物の栽培があります。限られたスペースで世界各地のめずらしい植物を栽培できる本当に幸せなことだと思います。テーマが新しい植物ですが新旧とわずこれから栽培が増加すると思われる種類を紹介します。

#### ツルスマレ, *viola, hederacea*, スミレ科

原産、オーストラリアです。草丈、花茎を含め10~15 cmです。室内で育てるとやや伸びます。茎はごく短く無茎に近いですが匍枝が四方に伸び節より新苗が生じ小苗でもよく開花します。葉は種名の通りヘデラの葉に似て円形に近い腎形、径15~30 mm 横幅が長目です。表面つやがあり肉質、葉縁やや波状でざざざざがあります。葉柄は長いです。花は径10~15 mm, 花卉の外側は白色、中央部は青紫色で下向きの弁に濃紫色の条線が入ります。満開になると花卉は外側にまくれるように咲きます。花茎は長く直立性です。葉は大変きれいで花は北海道で育てると四季咲きとなります。



シナシュウカイドウ

育て方、4号~5号の浅鉢に植え密生させるとよい。生育適温は10~25度C、20度前後が最適です。夏はベランダや庭先で、冬季間は室内の明るい窓辺で育てるとよい。用土、水はけよくすれば特に選ばないが畑土5、腐葉土「ビートモス」3、火山砂れき2の割合いでよく混ぜて植えるとよい。生育中肥料はほしがります。夏は油粕と骨粉を混ぜて追肥、冬季間はハイポネックスの1,000倍液を7~10日に一度の割合で定期的に与えるとよい。病害虫、アブラムシの防除が必要です。他は心配ありません。丈夫で育てやすく可れんです。

#### シナシュウカイドウ,

*Begonia sinensis* シュウカイドウ科

モミジバシュウカイドウとも呼びます。原産、台湾、中国です。草丈40~80 cm, 生育環境がよいと100 cm ぐらいまで育ちます。地下に球形の根茎があります。茎は直立性ですが分枝します。円柱形、緑色で節の部分は赤くなります。葉は歪卵状心臟形で葉縁大きく5~7裂に中裂するものもあり周辺は大小のざざざざがあります。葉質やや堅く葉面鮮緑色で針状の短毛が散生します。下面は葉脈の部分が赤色で大変目立ちます。花は淡いピンクです。気温が低下して生育環境が悪化してくると葉腋に肉芽が付きまます。その後地上部は枯れてきます。肉芽は環境がよいとすぐ発芽し新苗に育ちます。

育て方、鉢はなるべく小形がよい3~4号鉢が適当。用土は畑土5、腐葉土「ビートモス」4、火山砂れき1の割合で混ぜて植えるとよい。根茎または肉芽より育てます。生育温度は15~25度C 20度C内外が最適です。陽地を好むのでできるだけ日当たりのよい場所で育てること、生育中肥料はほしがります。ただ窒素肥料はなるべく控えるようにすると小形でがっちり育ち花つきもよいです。ハイポネックスの液肥のみでもよく育ちます。

#### マルヤマシュウカイドウ *Begonia*

*laciniata* var. *formosana*

原産、沖縄の八重山諸島、台湾に分布します。草丈20~50 cm 木立性根茎種、根茎が連なるよ

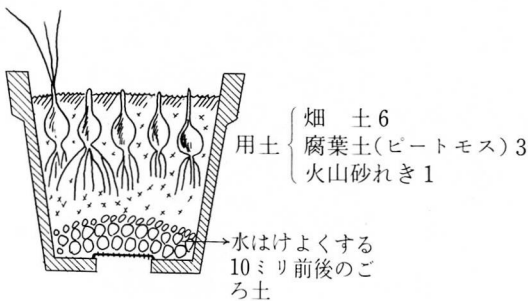


マルヤマシュウカイドウ

う横臥します。根生葉は卵形で縦に長くつき、先がとがります。柄はたく円柱形で長く緑色ですが基部は赤味があります。葉面は鮮緑色、つやがありなめらかで葉脈は白緑色で目立ちます。葉は肉質です。花はピンク色、花茎はたく円柱形、全体にずんぐりと育ちます。本種はフィロデンドロンのよさも兼ねた観葉植物、これから人気が出てくる原種のベゴニアです。育て方、シナシュウカイドウに準ずればよいです。ただ夏期間は白色のレースのカーテンの内側に置いて育て、冬季間は明るい窓辺で育てるとよい。20度C前後が生育適温です。鉢は4号～5号が適当、肥料は十分与えましょう。葉肉が厚いので乾燥にも強いですが、病害虫、灰色カビ病、ハダニの防除が必要、窒素肥料が効き過ぎ温度が不安定で湿度がやや高いとウドンコ病がでることもあります。発病初期に、ベンレート、トップジンM剤を散布すると有効です。使用の際は説明書をよく読んでから散布することです。

### キルタンサス *Cyrtanthus* ヒガンバナ科

原産、南アフリカに分布します。全体で50種あまり知られていますが国内で栽培されているのは主として、キ・オブリエニー、キ・マッケニー、



キルタンサスの植え方

5号(15cm)鉢で8球前後なるべく浅く植える

と交配種などです。いずれも鉢植えに適當です。いずれも球根性の多年草で葉と素朴な花を楽しみます。草丈は30cm前後、常緑性です。鱗茎は円球形～卵形、長さ3cm前後、径2cm前後で小形です。葉は細長く鮮緑色で一球より2～6枚が斜上します。若葉は直立しますが、老化すると横にたれます。そして外側の葉から黄変します。花茎は中心部より葉上に伸び一茎で4～6輪横向きに咲きます。花は筒状で長さ4cm前後、径1.5cm内外、香りがあるものと、ないものがあります。上品でなかなかかれません。花期は冬から春ですが、道内で育てると夏、秋にも咲く株があります。花色は紅、白、桃、黄、クリーム色などです。

育て方、生育適温は10～20度C冷涼な気候を好みます。しかし高温、低温にも強いですが、一般には春植え球根として市販されていますが、元來常緑性なので前記の適温下で育てると常時ゆっくりと生育を続けます。根張りも非常によくひも状の比較的太い根を多数伸ばします。用土は畑土6、腐葉土「ビートモス」3、火山砂れき1の割合いで混ぜて使います。鉢は4号～5号が適当、5～8球植えること。球根は頭がかくれる程度、浅く植えること。日当たりを好みます。夏はベランダ、庭先に置いて管理、冬季間は日当たりのよい窓辺に置くとよいです。生育中、水と肥料はほしがります。生育が長く続くので忘れないように与えること、肥料は油粕と骨粉を5:5の割合で混ぜ合せ、4号で茶さじ軽く二杯を2カ所に分けて山形に置肥します。球根がよくふえるので2～3年に1度植え替えを夏に行うとよい。この時は根土を全部崩して一球ずつに分けて再び4～5号鉢に植えるとよいです。この際元気な若い根はつけておき、定植後すぐに置肥を与えて育てるとよいです。

病害虫、特にありません。ただ根づまりがひどいと球根が腐ることがあります。

### 斑入りアフリカハウセンカ

### 「スターバースト」*Impatiens* ツリフネソウ科

親は南アフリカ、サンジバル産の多年草ですが、本種は園芸種です。草丈、草姿、花色は普通の種類と同じですが、濃緑色の葉の中央部に黄色の帯状の鮮明な斑が入ります。色彩のバランスが大変

よく目立ちます。本種は最近市販されたばかりですが、さし木でふやせるので栽培が急速に増加すると思います。性質は普通の品種と同じです。ただ乾燥にはやや弱いようです。また肥培管理に注意しないと斑の出方が悪くなります。窒素過多にしないことと、半日陰で育てるようにするとよいです。アフリカハウセンカは生育中に肥料が不足すると花つきが悪くなります。また葉も黄変しやすいので注意すること。根が張り過ぎると老化が早まります。鉢はなるべく小さ目が適当ですが株の大きさに合わせて鉢替えを行うことが必要です。浅根性で横に広がるように根が張るので口径の大きな浅鉢に植えるとよいです。半日陰で十分育つので室内栽培に適します。乾燥がひどい場合は水槽の中に鉢を入れ、ガラスのふたをして育てるとよいです。生育適温は15～25度C、低温には弱いので8度C以下になるような時は用土を乾きぎみにしておくこと、用土が湿っていると根が傷み腐ります。また昼夜の温度差が大きいと生育が悪く花もちがよくありません。温度には注意してください。病害虫、ハダニ、カイガラムシ、オンシツコナジラミ、ウドンコ病、灰色カビ病が発生します。生育環境をよくし、健康に育てること、カイガラムシにはカルホス乳剤を、オンシツコナジラミにはスプラサイド乳剤、アクテリック乳剤が適当です。病気は株が弱った時に発病するので薬剤散布とともに根の健康に注意することが必要です。また窒素肥料過多に注意してください。

### ツルギヌラ *Gynura sarmentosa* キク科

本種の仲間にはアジア、アフリカ、オーストラリ



ツルギヌラ

アに広く分布、全体で40種あまり知られています。本種は園芸種です。最近鉢物として市販され人気があります。茎が木質化する半灌木状の多年草です。茎はほふく性で横に広がるように伸長します。高さは30cm前後、長さは40～50cm以上100cmぐらいまで伸長します。円柱形で堅く紫色の軟毛が密生します。葉は互生、皮針形で肉が厚く葉縁に浅い切れ込みがあり先はとがります。葉面は濃紫色の軟毛が密生し鮮明で大変きれいです。花は茎頂近くの葉の基部より花茎が伸び先が枝分かれして橙黄色の変った頭状花が咲きます。葉肉が厚いので乾燥に耐えるので室内鉢物として最適、吊鉢や、戸棚や本棚の上に置いてよく、テレビの上に置いてよいです。生育適温は15～25度C、高温を好みます。そのため冬季間保温が完備した集中暖房の室内や、ビルの窓辺で育てるとごきげんに育ちます。

育て方、さし木でよく発根します。温度さえ20度C内外保てると年中さし木が行えます。発根後の用土は畑土5、腐葉土、「ピートモス」3、火山れき2を混ぜ合わせて使います。さし木苗は、最初3号鉢に1～2本植えとして、枝が伸びよく根が回ってきたら4号に鉢替を行います。吊鉢で育てる場合は4号でしばらく育て5号に鉢替してから吊鉢として楽しむとよいでしょう。温度さえあれば生長が早いです。肥料はほしがります。油粕と骨粉を5：5の割合で混ぜ合わせて置肥で与え、更に7～10日に一度ハイポネックスの1,000倍液を与えるとよいです。生長が早いので用土がよく乾きますが、給水は用土が白っぽく乾いてから十分与えるとよい。なるべく用土を乾かすようにしてがっちり堅



エスキナンサス・ツルギヌラのさし木  
5号鉢 10～15本させる



エスキナンサス・スベシオサス

く育てるようにするとよいです。枝が伸び過ぎたら適当な長さに切りつめて側枝を伸ばすようにするとよいです。温度さえ保てれば丈夫な植物です。温度が低いと落葉します。また根が傷んで突然枯れることもあるので注意することです。

病害虫、カイガラムシ、ハダニがつかます。また灰色カビ病も時どき発生します。発生初期に防除することが必要です。

### エスキナンサス *Aeschynanthus*

「ハナツルグサ属」 イワタバコ科

原産、インドネシア、タイ、ビルマよりヒマラヤ地域に分布します。全体で70種あまり知られていますが、その内6種あまりが温室植物として栽培されています。園芸店でなじみの種類は、エ・プルクルム、エ・ミクランサス、エ・マルモラータス、エ・プルケラなどです。いずれも筒状の花と緑葉、斑入り葉を楽しむ半つる性の常緑の小灌木です。ここではエ・スベシオサスを紹介します。

原産、インドネシア「ジャワ」です。枝は長さ30~50cmぐらい四方に株立ち状に斜上またはたれ下るように伸びます。円柱形、緑色、節はやや太く普通は径3~5mmですが太くなると10mmぐらいになり堅いです。葉は対生、広卵形~細長い楕円形で先は細くとがります。表面濃緑色、なめらかでつやがあり多肉質です。葉緑やや波状、裏面は淡緑色でなめらかできれいです。長さ5~10cm、幅1.5~3cmです。茎頂に筒状花が上向きで2~3輪から10数輪咲きます。長さ5~7cm、花筒の中

央部がふくらみ先はまがり、先端は横向きに開きます。つぼみの時は橙黄色で開花すると基部黄色で上部は紅をまじえた橙色です。雄しべと柱頭が花筒から飛び出します。筒状花は肉質で全体に短毛が密生します。花期は春~夏ですが、新梢が伸びると不定期に咲きます。

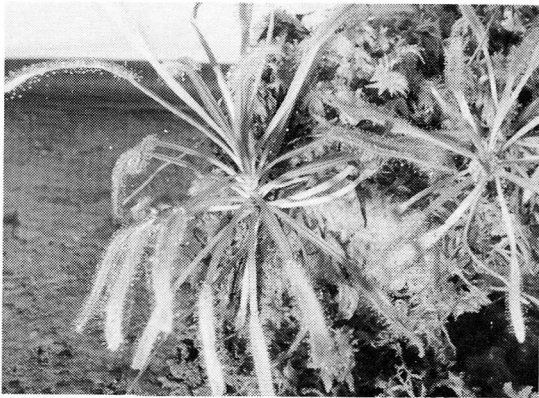
育て方、生育適温は15~25度C、20度C前後が最適です。用土はシナジュウカイドウの用土と同じでよい。またミズゴケ単用でも育ちます。日当たりを好みます。鉢はなるべく小鉢がよい。4号~5号が適当、なるべく素焼鉢がよいです。空中湿度が高いと葉色がさえます。乾燥にも耐えますがあまり乾くと葉先が変色します。肥料は好みます。置肥とハイポネックスの1,000倍液を併用するとよい。夏は窓辺につるしてもよく、ベランダに置いて育てるとよい。冬季間は明るい窓辺で育てるとよいです。水は夏は十分与え、冬季間はきり吹きで葉水は回数多く与え、鉢内給水は用土が乾いたら与えるようにして過湿にしないことです。病害虫、根腐れに注意、またカイガラムシがつくので防除が必要です。根が傷むと葉先が枯れてきます。繁殖はさし木が適当です。

### アフリカナガバモウセンゴケ

*Drosera Capensis* モウセンゴケ科

原産、南アフリカケープタウン地域に分布、モウセンゴケ科の代表的な食虫植物です。本属中では大型種で冬芽をつくらず適温下では常時生長が続きます。変形した美しい捕虫葉と小昆虫を捕えて生活する姿が観賞できます。茎はやや立上ります。葉は多数放射状に密生します。葉柄は長さ3~10cm、虫を捕える部分は帯状で長さ3~7cm、幅4~8mm、葉面は赤く色づききれいです。花茎は葉上に伸び穂状に淡紅紫色の5弁花が下から上に咲き登ります。花後種子がよく実ります。

育て方、生育温度は15~25度C、20度C前後が最適です。空中湿度が必要なので水槽の中で育てるとよい。鉢は4号~5号が適当、一鉢に4~5本寄せ植えするとよい。植え込み材料はミズゴケ単用が適当、生ミズゴケで植えるとよい。鉢は水盤に入れ半分ぐらいの高さまで水につけて管理します。ミズゴケが乾くと植物が枯れてしまいます。



アメリカナガバモウセンゴウ

日当たりを好むので日当たりのよい窓辺に置いて育てるとよい。空気が乾く時はガラスのふたをしておくとうい。生育中肥料はいりません。繁殖は実生、根さしてふやします。狭い場所でも育てられ、管理に手間はあまりかかりません。冬季間はテレビの上に置いて蛍光灯をつけ、明るくして育てるとよいです。病虫害、特に心配ありません。

ピンギクラ・プリムリフロラ

*Pinguicula primuliflora* タヌキモ科

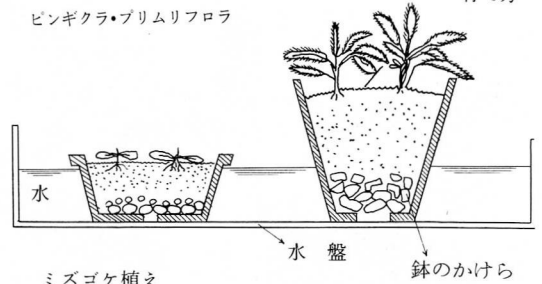
原産、アメリカ南部の山地に分布します。日本に自生するムシトリスミレと同じ仲間です。本種も代表的な食虫植物です。ムシトリスミレの仲間ではアシナガムシトリスミレが鉢物としてラン室内でよく栽培されていますが、本種も花がきれいな上に育てやすいのでこれから栽培が増加すると思います。葉は地面にへばりつくように展開します。長楕円形、長さ3~7cm、幅7~15mm、葉面淡緑色、線毛が密生し粘液が出てきれいです。葉縁はやや波状で内側に内屈します。葉先は丸いですが凹むものもあります。花は株の中心部より長



ピンギクラ・プリムリフロラ

アフリカナガバモウセンゴケの育て方

ピンギクラ・プリムリフロラ



ミズゴケ植え

鉢のかけら

(注) 空気が乾く場合は上記のものを水槽に入れ上部にガラスをかけるとうい。

い花茎を伸ばし茎頂に桃色~淡紅紫色で花の中心部が白色で黄斑があり黄色の短毛がある5弁花が咲きます。花はプリムラの花によく似て大変きれいです。新葉が伸びて成熟すると葉先の部分より不定芽が出て新苗が自然に育ちます。生命力の強い植物です。小型なので栽培も容易、狭い場所で育てられます。また育てておもしろい植物です。

育て方、前記のアフリカナガバモウセンゴケと同じようにして育てます。鉢は4号~5号の浅鉢が適当です。植え込み材料はミズゴケ単用が適当、鉢の縁までミズゴケを入れてそこに苗を植えます。本種も3~4株葉がふれる程度に植え込むとういです。そして鉢を水盤に入れ、腰水栽培で育てます。水は鉢の縁よりやや低い程度がよく、水が少なくてミズゴケが乾くようだと生育が悪いです。乾燥には弱いので十分注意することです。本種も日当たりを好みます。1日に3~4時間当たれば十分で、午前中、または午後から当たればよいです。小鉢で育てられるので前記の植物といっしょに水槽の中に入れて育てるとよいです。生育中肥料は与えなくてもよい。ただ小苗の間は極薄いハイポネックスを与えると肥効は目立ち、株の肥大は早まります。この他食虫植物には育てておもしろい種類が沢山あります。場所をとらないので種類をコレクションするとおもしろいです。家族全員で楽しめます。新しい鉢物として今後栽培が広まると思います。栽培者の好みと栽培環境を上手に生かして楽しみながら育てるとよいでしょう。